

地域再生計画(地方創生汚水処理整備推進交付金)事後評価調査

都道府県名	茨城県	事業実施主体	古河市	地域再生計画名	「自然愛・郷土愛 魅力あふれる古河づくり」再生計画
計画期間	平成30年度～令和4年度	評価責任者	古河市上下水道部長 小木 久		

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績							
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	定住人口の促進	140,509 人	H28	135,490 人	R2	138,102 人	133,609 人	R4	140,726 人	○	指標 総数	達成 数	目標値を7,117人上回り、目標達成できた。 汚水処理施設整備による快適な住環境整備や定住促進奨励金の活用など「市創生総合戦略」や「市人口ビジョン」に示されている施策の取組などにより、目標を達成できた。
	指標 2	放流水水質の向上 (BOD) 放流水水質の向上 (SS)	14.8 mg/ℓ 26 mg/ℓ	H27 H27	12.5 mg/ℓ 20.0 mg/ℓ	R2 R2	27.3 mg/ℓ 7.0 mg/ℓ	10.0 mg/ℓ 15.0 mg/ℓ	R4 R4	1.3 mg/ℓ 2.4 mg/ℓ	○ ○	2	2	農業集落排水区域拡大(編入)が整備完了し、令和5年4月に供用開始による宅内排水設備の接続により、水質向上の目標とした同地区の放流水水質が目標を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	汚水処理人口普及率の向上	79.86%	H28	82.48%	R2	82.11%	83.84%	R4	83.01%	△			農業集落排水事業の区域編入の整備が完了し、汚水処理人口普及率の向上に寄与することができたが、合併浄化槽及び公共下水道の整備が計画よりも少なく最終目標値を下回った。今後も未普及地域を効率的・効果的な手法により整備し、普及率の向上を図る。
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量(その他の事業では取組内容)			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度(R2)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	農業集落排水事業(名崎南部地区の区域編入)		管きよ 8.15km	管きよ 5.59km	管きよ 7.37km	区域編入地区内における管きよ整備延長は交付金事業分で7.37km、整備区域全体では8.49km整備された。								
	農業集落排水事業(恩名地区処理施設機能強化)		1式	1式	1式	既処理施設機能強化改築更新により維持管理費及び区域編入により施設整備費の削減が図られた。								
	合併浄化槽(個人設置型)		基数 460基	基数 187基	基数 344基	令和元年度の国の要綱改正案(新築の合併浄化槽設置が補助対象外)を受け、予算が確保出来なかった。その後、平成31年3月に条件付きで新築の合併浄化槽の設置も補助対象とする方針変更がされたため、令和元年度分については計画設置基数を見込めず整備量が減少した。また、コロナ禍による民間需要の減少に伴い、補助金申請後の工事中止等の申請取り下げがあり、計画値に達しなかった。								
その他の事業	下水道の啓発活動		下水道に対する理解や関心を高めるPR活動や、下水道への接続を促進する事業を実施。			9月10日の「下水道の日」に合わせ、啓発活動の一環として市設置デザインマンホール蓋や下水道コンクール表彰者作品の展示会、市内の小学校児童による下水道処理施設見学の実施により、下水道の理解と関心を深めることに寄与した。また、下水道未接続者に対し接続お願いの通知を送り普及促進に務めている。								
	水辺の有効利用		地域の身近な水辺における環境学習や自然体験活動を推進する事業を実施。			市民の憩いや癒しの場である「わたらせ水辺の楽校」において、魚つかみや植物観察といった自然体験イベントを令和元年度以降で10回(延べ597名参加)や清掃活動等の実施により、自然環境に対する意識の向上が図られた。								
	定住促進奨励金の活用		奨励金を交付し、市内への移住・定住を促進する事業を実施。			住宅・マンションを購入した若者・子育て世帯へ定住をサポートするため、定住促進奨励金の交付を行い、また、世代間の助け合いを目的とした三世帯同居の促進に伴う定住促進を図るため、二世帯同居等支援奨励金を計画期間中延べ1076世帯に交付し、定住化の促進が図られた。								
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	古河市上下水道事業運営審議会及び古河市環境審議会の有識者へ、最終実績の報告を行い、実現状況に関する意見聴取・評価等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	古河市下水道課のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、汚水処理施設整備推進交付金を活用した「農業集落排水」と「個人設置型合併浄化槽」の整備を一体的に行うことで、公共用水域の水質改善のため良好な生活環境の確保や定住促進奨励金など、各施策の取り組みにより指標1の向上につながったと考えられる。また、農業集落排水供用開始となった区域の排水設備早期接続や合併浄化槽設置を促すことで、汚水処理人口普及率の向上が見込まれ、指標2における水質に関しても本計画の農業集落排水区域の水質は目標を達成した。													
⑦今後の方針等	当該事業による農業集落排水新規区域編入により令和5年4月に供用開始となったことから、排水設備の早期接続を促す。また、公共下水道未整備地区の整備量を増やし効率的・効果的にやっていく。合併浄化槽事業(個人設置型)補助事業については今後も継続して実施し補助制度を市民周知するなど、今後においても、汚水処理人口普及率の向上を目指すとともに、接続促進や啓発活動についても引き続き実施していく。													